

SCS セキュリティ専門家向け 職務経歴書

道廣 和男（みちひろ かずお）

現職	有限会社オフィスネットワーク 代表取締役／株式会社ネットスクエア 取締役／ 外資系認証機関 契約主任審査員
専門領域	サプライチェーン管理、品質保証、情報セキュリティ、ISO マネジメントシステム、第三者審査、内部監査、IT・システム開発支援
SCS との接点	製造・購買・外注管理から品質保証、情報セキュリティ管理、第三者審査まで、供給者・事業者・評価者の各立場を実務で経験

1. 職務要約

1981 年にジャパンゴアテックス株式会社へ入社し、製造、生産管理、生産技術、開発、品質保証を経験。1992 年から ISO9002 品質管理責任者として品質マネジメントシステムの構築・運用を主導し、1995 年に JQA による ISO9002 認証取得に対応した。独立後は ISO 審査・コンサルティングへ活動を広げ、1997 年から ISO9001 審査に従事。品質、環境、情報セキュリティ、労働安全衛生分野を中心に約 3,000 審査日を経験している。2001 年から株式会社ネットスクエアの取締役として IT・ソフトウェア開発及び ISO 事業に参画し、現在は同社 ISO27001 情報セキュリティ管理責任者として ISMS の維持、内部監査等を担当している。製造現場からサプライチェーン、経営、IT、情報セキュリティ、第三者審査までを横断して評価できることを特徴とする。

2. SCS 評価に活かせる主要経験

- **製造・サプライチェーン実務**：製造、生産計画、資材発注、在庫管理、外注縫製工場の技術指導・品質改善、顧客仕様書の締結、クレーム対応等を経験。要求事項を供給者へ展開し、運用・結果を確認する実務を経験している。
- **品質保証・マネジメントシステム構築**：ジャパンゴアテックスにて QA プロジェクトチーフ、ISO9002 品質管理責任者を担当。規程類整備、社内教育、内部監査、外部審査対応、品質システム維持を実務責任者として経験。
- **第三者審査**：1997 年から ISO 審査業務に従事し、審査実績は約 3,000 日。ISO9001・14001・27001 及び 45001 の審査力量を活用し、要求事項、運用、エビデンス、有効性を一連で確認する審査を実施。
- **情報セキュリティ**：2003 年から ISMS 主任審査員登録・コンサルティングを開始。ISO27001 認証取得・移行支援、情報セキュリティ監査、内部監査を経験。現在も株式会社ネットスクエアの ISO27001 情報セキュリティ管理責任者として運用側の責任を担う。
- **IT・システム**：ソフトウェア開発における要件定義、開発、リリース、カスタマーサポートを指揮。ASP／クラウド型サービスの共同開発・事業化経験を有し、情報セキュリティ要求を実際の IT 運用へ落とし込む視点を持つ。

3. 主要職歴

期間	所属・役割	SCS に関連する主な職務
1981.4～1995.10	ジャパンゴアテックス株式会社	製造、生産管理、生産技術、開発、品質保証。自動車、航空部品、産業資材、医療機器、繊維製品等を経験。
1992.4～1995.5	同社 ISO9002 品質管理責任者	品質システム構築、規程、教育、内部監査、外部窓口を統括。1995 年 5 月、JQA より ISO9002 認証取得。
1996.9～現在	オフィスネットワーク／ 有限会社オフィスネットワーク	ISO コンサルティング、情報セキュリティ監査、内部監査、経営・事業運営。
1997～現在	国内・外資系認証機関	ISO9001 を起点に 14001、27001、45001 へ拡張。第三者審査 約 3,000 日。
2001.8～現在	株式会社ネットスクエア 取締役	ISO 事業、IT・ソフトウェア開発支援。現在、ISO27001 情報セキュリティ管理責任者として ISMS 維持・内部監査等を担当。

4. SCS セキュリティ専門家としての強み

① Supply Chain を現場から理解

生産計画、資材購買、外注管理、顧客要求、品質保証をメーカー側で経験しており、供給者管理を規格知識だけでなく実務プロセスとして確認できる。

② Security を管理・運用の両面から理解

ISO27001 主任審査員としての評価経験に加え、現役の情報セキュリティ管理責任者として ISMS を維持しているため、「評価する側」と「運用する側」の双方の視点を持つ。

③ Evidence を審査員の視点で判断

文書の有無だけでなく、責任者、実施記録、設定、ログ、教育、監視、是正、改善まで確認し、要求事項に対するエビデンスの十分性・整合性・有効性を評価できる。

④ 複数マネジメント領域を横断

品質、環境、情報セキュリティ、労働安全衛生の審査経験を通じ、組織の状況、リスク、外部提供者、力量、変更管理、緊急時対応、是正処置等を横断的に確認できる。

⑤ 中小企業の実装現実性を重視

コンサルティング、自社経営、IT 会社経営への参画経験から、規程を増やすこと自体を目的とせず、既存業務へ組み込み、継続可能な仕組みと証拠を設計することを重視する。

5. 主要資格・審査力量

- ISO9001 主任審査員 (JRCA A1644)
- ISO14001 主任審査員 (IRCA 1198106)
- ISO27001 主任審査員 (ISJ-A00659)
- ISO45001 主任審査員 (外資系認証機関 内部認定)
- ISO22000 審査員補 (F1151)
- 二級建築士／第二種電気工事士／防災士／認定心理士

6. SCS 関連業務で提供可能な役割

- SCS 要求事項・評価基準に基づく自己評価内容のレビュー
- 規程、台帳、ログ、画面、契約書、教育記録等のエビデンス確認
- 不足事項・不整合事項の特定及び是正・改善に向けた助言
- サプライチェーン／取引先管理の運用確認
- ISO/IEC 27001・27002 の知見を活用した実装方法の整理
- 情報セキュリティ管理を既存の業務プロセスへ組み込むための支援
- 制度上の登録・研修修了後、認められる範囲での SCS セキュリティ専門家業務

7. 職務経歴の特徴

製造現場から品質保証、サプライチェーン管理、ISO マネジメントシステム、IT・情報セキュリティ、第三者審査へと専門領域を拡張してきた。特に、ISO9002 品質管理責任者として「仕組みを構築・運用する側」を経験した後、長年にわたり「審査する側」として活動し、現在も IT 企業の情報セキュリティ管理責任者として「運用する側」に立っている。この三つの立場を活かし、SCS においては要求事項を形式的に確認するのではなく、リスク、実装、運用、エビデンス及び有効性を一貫して確認することを基本姿勢とする。

※本書は SCS 向けに主要経歴を抽出した職務経歴書です。SCS セキュリティ専門家としての正式な表示・署名等は、IPA 所定の研修・登録その他の制度要件を満たした後に行います。